

芸劇BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.8 2014
7.8.9.



特集・PICKUP

コンサートオペラvol.2

G.ヴェルディ歌劇「ドン・カルロス」

ケント・ナガノ指揮

モントリオール交響楽団

ブラスウィーク2014

世界のマエストロシリーズvol.2

R.エリシュカ&読売日本交響楽団

勅使川原三郎 新作公演

「睡眠 - Sleep -」

野田秀樹×藤田貴大

「小指の思い出」

芸劇eyes 芸劇dance eyes plus ほか

ハイバイ／はえぎわ／BATIK／

サンプル／二兎社／

富士山アネット／ポリグラフ

オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 来日公演

「十二夜」

大道芸／にゅ～盆踊り

対談

東京芸術劇場 芸術監督

野田秀樹

演出家

孫 振策 (ソン ジンチェク)

CALENDAR

7月・8月・9月

REPORT

野田秀樹「THE BEE」

ヨーロッパツアー2014 in パリ

朗読「東京」

東京芸術劇場コンサートオペラvol.2

G.ヴェルディ 歌劇「ドン・カルロス」

DON CARLOS

Giuseppe Verdi 9 Version Paris en 5 actes

パリ初演版・フランス語全5幕【日本初演】演奏合形式

— 東京芸術劇場『ドン・カルロス』パリ版 日本初演に寄せて —

理解への第一歩は 「原点を顧みる」ことから

イタリアのヴェルディがなぜパリ・オペラ座のために
フランス語の歌劇を作ったか？ 文人たちのドラマを見抜く眼、
世界一と称された金管の演奏水準 — 大作『ドン・カルロス』は、
大作曲家が「言葉の壁」を乗り越えた証なのだ！

ジュゼッペ・ヴェルディは「感情を活かした」作曲家である。彼は喜びなら何度も嘔み締め、悔しさは決して忘れなかった。だから、二十年近くも前のオペラでも、弱点を感じたならすぐさま改稿に取り組み、音楽を補強したのである。

でも、だからといって元の「オリジナル版」をお蔵入りにして良いものか？とんでもない！たとえ粗削りの個性でも、若書きの旋律線には若書きなりのエネルギーが溢れている。それはいわば、水を完全に弾く十代の素肌のように、有無を言わさぬ健康美を備えたものなのだ。

今回、東京芸術劇場が総力を挙げて取り組む『ドン・カルロス』パリ版日本初演のステージは、まさに、この大作の「素顔」に触れるか

けがえのない機会である。原点を知ってこそ成長の度合いも判るといふもの。本作に初めて接する人なら、作曲家の初志に先入観なく接することができるし、改訂版『ドン・カルロス（カルロ）』のファン層も、書き直されたページとオリジナルとの違いを目の当たりにして、ヴェルディが本作に傾けた情熱の量に思いを馳せるに違いない。

本作は一般的に『ドン・カルロ Don Carlo』と呼ばれている。その理由は、今は「イタリア語訳詞」での上演が主流であるから。しかし、本来の題は『ドン・カルロス Don Carlos』。仏語ではCarlosのSを発音する。そこで強調しておきたい。今回のパリ版の日本初演は、このオペラにおけるヴェルディの音作りを正しく掴む絶好のチャンスでもあるということ。

フランス語とイタリア語では、単語の字面が似ていても、音の長さや語順が相当に違う。だから、作曲家が歌詞を活かそうと懸命に作ったフレーズでも、訳詞になると違う意味の言葉が滑り込んでしまう。また、子音と音符が反応しての鮮烈な音の爆めきも、詩句のずれで消し飛ぶことが多いのだ。本作で伊語訳詞とは、いわば「育ての母」の立場。世界中で上演される道を作ってやったのだから、でも、「生みの母」の仏語で歌うと、音と言葉の繋がりが一挙に濃密になり、聴く人に驚きを与えるのである。

また、『ドン・カルロス（カルロ）』には5幕版と4幕版の違いも存在する。今回のパリ版は、大まかに言うと「改稿されていない5幕版」になるが、そのまま演奏すると4時間半を超えるので、今回は少しずつ切り詰めて、繰り返しのパッセージやバレエ場面をカットする。でも、5幕版ならではの第1幕が聴けるのは何よりの喜び。王子と王女が出会い、愛を燃え上がらせた途端に引き裂かれるというこの導入部に、ヴェルディがどれほど心を込めて音楽を付けたことか — 4幕版では決して味わえないこの幕は、実は文豪シラーの原作にはなく、だ。フランスの台本作家コンビがアイデアを駆使して作った名場面である。その真価も仏語の歌でいっそう鮮明になるだろう。

今回は、主役カップルから小さな役まで日本の名歌手たちが集い、イタリア生まれながらフランス・オペラにも出演が多い大歌手コロンバーラが国王役で華を添えるという豪華な顔ぶれ。フランスものに通じた最右翼の指揮者、佐藤正浩が彼らを支え、牽引する。この公演で、言葉の壁を乗り越えて最高傑作を世に送ったヴェルディの「凄み」を体感してみよう。

文：岸 純信(オペラ研究家)

東京芸術劇場コンサートオペラvol.2

G.ヴェルディ 歌劇『ドン・カルロス』
9月6日(土) 15:00開演 コンサートホール

指揮：佐藤正浩
管弦楽：ザ・オペラ・バンド
(在京プロオケメンバーで結成)
コーラス：武蔵野音楽大学(合唱指揮：横山修司)

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成：平成26年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業



佐藤 正浩
(指揮)



佐野 成宏
(ドン・カルロス)



浜田 理恵
(エリザベート)



カルロ・コロンバーラ
(フィリップ2世)



堀内 康雄
(ロドリーク)



小山 由美
(エポリ公女)



妻屋 秀和
(宗教裁判長)



ジョン・ハオ
(修道士)



鷲尾 麻衣
(ディボー)



佐藤 美枝子
(天の声)



ジョルジュ・ゴートイエ
(レルマ伯爵)

詳細はP13へ

海外オーケストラシリーズⅡ モントリオール交響楽団

壮麗な音の饗宴ふたたび！ 泡立ちクリームのようなドビュッシー

カナダの名門モントリオール交響楽団が、
音楽監督ケント・ナガノとともに、6年半ぶりに来日する。
色彩的で豊麗な音色のすばらしさでは世界でも一、二を争う存在、と
定評のあるオーケストラだ。その聴きどころは？

モントリオール交響楽団は、以前からズービン・メータやシャルル・デュトワのもとで、世界有数のオケとして知られてきた。特にデュトワの音楽監督在任時代(1978~2002年)にはたくさんのディスクや何度かの来日を通じて、わが国でも大変な人気を得ていたものであった。

このモントリオール響の音楽監督を、2006年に引き継いだのが、我々の日系指揮者ケント・ナガノである。リヨン国立歌劇場音楽監督、ハレ管弦楽団音楽監督、ベルリン・ドイツ響芸術監督、バイエルン州立歌劇場音楽総監督などを歴任した世界屈指の名指揮者だ。

「私が最も大きな影響を受けた指揮者は、小澤征爾さんです」と、ケントは語ったことがあった。「小澤さんは、私たち日系米国人にとって重要な存在でした。私が少年の頃、テレビで小澤さんがサンフランシスコ交響楽団を指揮しているのを見た祖母が、『誇りに思いなさい、日本人がアメリカのオーケストラを率いているのよ！これがどんなに例のない素晴らしいことか、よく見ておきなさい』と言ったのです」。それは、第2次世界大戦で苦勞した体験を持つ在米日系人たちの、偽らざる心境であったろう。

その後ケントは、小澤征爾とサンフランシスコ

響のリハーサルを、ホールの裏口からもぐりこんで聴いたりして、指揮者への道を踏み出した。そして、「ボストン交響楽団では小澤さんのアシスタントを務めました。小澤さんは、指揮について私に詳しく教えて下さったのです」。

ケント・ナガノは、すでにモントリオール響とベートーヴェン、ブルックナー、マーラーなどの交響曲のディスクをリリースしている。2008年4月には、この新しいコンビによる初めての来日公演を行なった。

その時の演奏を、実際にお聴きになった方も多いだろう。特にドビュッシーの『牧神の午後への前奏曲』や交響詩『海』、ベルリオズの『幻想交響曲』、ラヴェルの『ボレロ』など、フランスの作品における音色の壮麗さ、響きのふくよかさは、なんと素晴らしかったことか。『海』での、弦と木管が囁き交わす個所など、まるでふんわりと泡だったクリームがあふれ出すような雰囲気を感じさせていた。ケントは、デュトワの時代に創られたプリリアントな響きを残しつつ、更にその上に彼独自の瑞々しい柔らかい音色を植えつけ、このオーケストラを完全に自己のものにしていたのであった。

あれから6年、このコンビは、ますます快調な進撃を続けている。両者の呼吸も、更に完



ケント・ナガノ



五嶋 龍

壁な状態に達しているだろう。今年3月に行われた大規模な欧州ツアーも成功裡に結ばれたということだ。今秋の来日公演の曲目にも、あの『海』が入っているのがうれしい。そして、フランスの大作曲家ラヴェルが彼の流儀で色彩的に編曲したムソルグスキーの『展覧会の絵』も含まれる。これらは、来日直前のモントリオールでの9月定期のプログラムにも入っているの、私たちはその「完成された」演奏が聴けるに違いない。それに加え、素晴らしい若手・五嶋龍が弾くストラヴィンスキーの「ヴァイオリン協奏曲」がある。鮮烈な演奏が聴けるだろう。

文：東条碩夫(音楽評論)
※ケント・ナガノのコメントは、筆者のインタビューによる



モントリオール交響楽団

海外オーケストラシリーズⅠ・Ⅱ・Ⅲ

フランス国立リヨン管弦楽団
7月19日(土) 15:00開演 コンサートホール

指揮：レナード・スラットキン
ピアノ：小菅 優
管弦楽：フランス国立リヨン管弦楽団
ラヴェル／組曲『マ・メール・ロワ』
ピアノ協奏曲ト長調
サン＝サーンス／交響曲第3番 op.78「オルガン付き」
S席12,000円 A席8,000円 B席6,000円
C席5,000円 D席3,000円 ※SS席14,000円

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区
助成：平成26年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ



レナード・スラットキン



小菅 優

モントリオール交響楽団
10月10日(金) 19:00開演 コンサートホール

指揮：ケント・ナガノ
ヴァイオリン：五嶋 龍
管弦楽：モントリオール交響楽団
ドビュッシー／交響詩『海』
ストラヴィンスキー／ヴァイオリン協奏曲 二調
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)／組曲『展覧会の絵』
S席18,000円 A席13,000円 B席9,000円
C席5,000円 D席3,000円 ※SS席22,000円

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

フィルハーモニア管弦楽団
2015年 3月7日(土) 14:00開演 コンサートホール

指揮：エサ・ベッカ・サロネン
ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン
管弦楽：フィルハーモニア管弦楽団
シベリウス／交響詩『トゥオネラの白鳥』
ブラームス／ヴァイオリン協奏曲
ベートーヴェン／交響曲第3番 変ホ長調『英雄』
S席19,000円 A席15,000円 B席11,000円
C席7,000円 D席4,000円 ※SS席22,000円
発売日：10月7日(火)

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



エサ・ベッカ・サロネン



ヒラリー・ハーン

芸劇dance「睡眠-Sleep-」世界初演

勅使川原三郎が描き出す
眠りと覚醒の“あわい”

久々にビッグネームの取り合わせだ。

バレエの名花オーレリー・デュボンと、世界の第一線で活躍する
勅使川原三郎の初共演が実現する。目も覚めるような新作のタイトルは
『睡眠-Sleep-』。演出、振付の勅使川原に話を聞いた。

これはバレエファンとダンスファン、共に
待望の舞台である。バレエの最高峰、パリ・
オペラ座バレエ団のエトワールであるオーレ
リー・デュボンが、世界的に活躍する振付家・
ダンサーの勅使川原三郎が主宰するダンス
カンパニーKARAS作品に登場するのだ。勅
使川原は同バレエ団に作品を委嘱された唯
一の日本人振付家だが、昨年にはなんと2作
目となる『闇は黒い馬を隠す』を振り付けた。
デュボンはこの作品にも出演しており、両者
のコミュニケーションもバッチリである。今回
の新作『睡眠-Sleep-』について、演出、振
付の勅使川原に話を聞いた。

「オーレリーとは『闇は～』のクリエイションの
前に、たっぷり一ヶ月間かけてワークショップ
をやりました。私のメソッドはクラシック・バレ
エはもちろん、コンテンポラリー・ダンスとい
われるものとも違います。たいていのダンス
は『様々な磨き抜かれた動きを構成していく
もの』といえますが、私のダンスは様々な要
素を溶かし、かつ絶えず新しく生まれ続ける
動きを見つけていくようなダンスです。カウ
ントも取らないし、身体のコントロールもあえ
て完璧にはせず、固定した振付の再現でも
ない。即興というよりも、生物学でいう『自発
的再構成（スポンテニアス・リオーガナイゼー
ション）』に近いものです。オーレリーは『闇は
～』を通して、私のメソッドを深く理解してく

れています」

パリ・オペラ座バレエ団の
来日演目は、ほとんどがクラ
シック・バレエ作品だ。しかし
同団は世界でも屈指のコン
テンポラリー作品をレパート
リーに持っているバレエ団
なのである。今回の作品は、
「デュボンがコンテンポラ
リー作品を日本で踊る、初め
ての機会」であり、そういう意味でも見逃せ
ない。デュボンは先だってオペラ座来日公
演で多くのクラシックバレエの観客を魅了し
たが、今回は彼女の未知の領域までも楽し
めそうだ。

さて、気になる作品のタイトルは『睡眠-Sleep-』である。ダンスという「身体を使う
芸術」で「睡眠」がテーマとは、なかなか挑戦
的ではないか。勅使川原は言う。
「覚醒と睡眠は、同じ身体の違った位相に過
ぎませんが、その境目がとても重要です。オ
ブジェクティブ（「物質的」と同時に「客観的」
という意味もある）なものを失っていく感覚
と、その瞬間を逃さないようにしていきたい。
『夢にしがみつくように眠りこける』と書い
たりするブルーノ・シュルツ（ポーランドの作
家。勅使川原は連続して舞踊作品化してい
る）の小説や、夢を書き留めていたという明



恵上人（12世紀の禅僧）の言葉を見ると、言
語化することで、埋没しそうな物があらため
て捉えられ深まっていくことがわかる。それを
ダンスでやってみるつもりです」

デュボンと勅使川原はもちろん、いまや彼
の作品に欠かせないダンサーとなった佐東
利穂子も出演する。また鰐川枝里等の若手メ
ンバーも、このところ成長が著しい。

「オーレリーの豊かな踊りと、質感を自在に変
えられる佐東のダンスのデュオもぜひ創りた
いですね。この二人はともに『強さ』と『かよ
わさ』を持っているんですが、それぞれタイプ
が違う。どうなるか、いまから楽しみです」

さらに勅使川原の舞台では、常に高く評価
される照明や音楽、美術も楽しみだ。最高の
ダンサーたちとどのような舞台世界が実現す
るのか、刮目して待ちたい。

文：乗越たかお（作家・ヤサぐれ舞踊評論家）

「睡眠-Sleep-」勅使川原三郎 新作公演

8月14日(木)～17日(日) プレイハウス
構成・振付・美術・照明：勅使川原三郎
出演：オーレリー・デュボン 佐東利穂子 勅使川原三郎 ほか
8月21日(木)愛知県芸術劇場大ホール
8月23日(土)兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール
主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成：平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
共同制作：東京芸術劇場／愛知芸術文化センター／愛知県芸術劇場／兵庫県立芸術文化センター／KARAS



© Rihoko Sato

勅使川原三郎
Saburo Teshigawara

ダンサー、演出家、振付家。1985年以降、自身のカンパニーKARASと共に世界中で公演を行い、その独自のダンスメソッドと独創的な作品は世界のアートシーンから高い評価を受けている。自身の作品にとどまらず、パリ・オペラ座バレエ団をはじめ欧州の主要バレエ団への振付や、ヴェニス・フェニーチェ歌劇場他へのオペラ演出も手掛ける。



© Anne Deniau

オーレリー・デュボン
Aurélié Dupont

パリ・オペラ座バレエ団エトワール。15年来エトワールとして、同バレエ団の作品で、多くの観客を魅了し続けてきた。そのレパートリーは古典からコンテンポラリーまで幅広く、2013年秋の勅使川原三郎振付による同団公演「闇は黒い馬を隠す」では、圧倒的な感動をもたらした。2014-15年シーズ「マノン」でパリ・オペラ座バレエ団引退を予定。

詳細はP11へ

「小指の思い出」

野田さんの言葉を演出する
準備をしていました。

演出・藤田貴大インタビュー

昨夏に作・演出した『cocoon』で一躍、その名を広めた藤田貴大。
弱冠 29 歳で野田秀樹の 80 年代の傑作戯曲を演出し、プレイハウスに進出する。
だが毎月のように作品を発表し、動くほどエネルギーを蓄える演劇モンスターは、
それを「挑戦ではない」と言う。

『小指の思い出』は青春もの

刺激的な若い才能が集まっている近年の
演劇界の中でも、とりわけ目覚ましい躍進
を続けている。この1年弱で、作家の川上未
映子、歌人の穂村弘、漫画家の今日マチ子、
ミュージシャンの原田郁子など、多ジャンルの
一流クリエイターと次々に共作。驚きのス
ピード、量、質で演劇の領域を広げる。それが
可能なのは、相手の作品の骨格を瞬で把握
するこの人の能力が、まず大きい。その力
で、1983年に夢の遊眠社で上演され、性の
越境、飛翔、言葉遊びなど、野田秀樹戯曲の
初期の特色が詰まった『小指の思い出』を、
青春ものと看破する。

「女性が少年を演じたり、誕生日が大切なモチーフになっていたり、ティーンな感じがすごくする。遊眠社時代の作品ということも含め、野田さんの作品の中では突出して青春もので、マームとジブシー（藤田が主宰する劇団）との共通点を感じます。ただ僕は、自分の作品を単なる青春ものという言葉で片付けてほしくないし、同様に『小指～』にもそういう部分を感じていて、マームの作品をつくる時と同じモラルで、この作品の青春と向き合っていくと思います」

公演情報が解禁になった途端、大きな話題を集めているのがキャスティングだが、注目

されるポイントは2つ。ひとつは、勝地涼や松重豊、山中崇ら映像でも幅広く活躍する俳優が、初めて藤田演出と出会うこと。
「勝地君達を指して、商業的な俳優とは言われたくないんです。ポスター撮影で役者さんが並んだ時に、全体として雰囲気すごく揃っていて、女子受けという意味じゃなく格好よかった。商業的な舞台とそうじゃない舞台の垣根があって、それを無くすことも今回課せられていると思うんですけど、僕がこれまでずっと、やってきたことの地続きにこの企画があると考えているので、そこはまったく心配していません」

もうひとつは、劇作家、演出家、美術家である鮎屋法水が俳優として参加、藤田の信頼が厚い青柳いづみとふたりで、かつて野田がひとり二役で演じた人物を演じること。
「鮎屋さんとは2012年に一緒に作品をつくっていて（『マームと誰かさん』）、車にはねられる男を演じてもらいました。その作品で青柳は、歩道橋の上からそれを目撃する女子高生役で。芸劇の方から“野田さんの戯曲を演出するとしたら？”と聞かれた時に『小指～』と即答したのは、その創作中に『小指～』の当たり屋のシーンを思い出したこと、ある人間の生まれ変わる前と生まれ変わった後を、鮎屋さんと青柳にやってもらうことに意味を感じたということも大きいです」



演出家・藤田貴大

人の言葉、大きな空間を演出するために

言葉のキレは鋭いが、長期的な視線で仕事に取り組む慎重さも持ち合わせる。『小指～』で初めて自分以外の劇作家が書いた戯曲を演出する準備を、着々と進めていた。
「意外と思われるかもしれませんが、僕、上の世代の皆さんをリスペクトしていて、野田さんの戯曲をいじるつもりはないし、演出だけを専門にしている新劇系の演出家さんの仕事もすごいと思う。最近続けざまに未映子さんや穂村さんの言葉を扱ったのは、人の言葉を演出することを、短期間で上手くならないといけなかったから。“週刊マームとジブシー”ぐらいの勢いで作品をつくり続けていたのは、失敗したくない仕事がある時に、家にこもって考えるより、たとえ傷付いても人に見せて成長したい。プレイハウスという大きな空間を若い演出家が使えることを、ちゃんと証明したいんです」

取材・文：徳永京子

「小指の思い出」

作：野田秀樹 演出：藤田貴大
9月29日(月)～10月13日(月・祝) プレイハウス
出演：勝地 涼 鮎屋法水 青柳いづみ 山崎ルキノ 川崎ゆり子
伊東茄那 小泉まき 石井亮介 斎藤章子 中島広隆／
宮崎吐夢 山内健司 山中 崇／ 松重 豊
料金：S席 5,500円 A席 4,500円 ほか [全席指定・税込]
チケット一般発売：7月26日(土)

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
東京都／東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成：平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

詳細はP14へ

＜野田秀樹作品セット券＞

「小指の思い出」と、「半神」のお得なセット券を一般発売に先がけて先行販売いたします。
料金：9,000円 1名様分
（全席指定・税込・S席・枚数限定・前売のみ）
セット券発売開始：7月19日(土)
取扱い：東京芸術劇場ボックスオフィス

東京芸術劇場×明洞芸術劇場 国際共同制作 韓国公演あり詳細はP19へ

「半神」東京公演
原作・脚本：萩尾望都 脚本・演出：野田秀樹
10月24日(金)～10月31日(金)プレイハウス
料金：S席 5,000円 A席 4,000円
S席ペア券 8,500円/2枚 ほか [全席指定・税込]
チケット一般発売：8月2日(土)

東京公演 主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
東京都／東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）
共催：明洞芸術劇場／独立行政法人国際交流基金 企画協力：NODA-MAP 株式会社小宇磨

ハイバイ「おとこたち」

7月3日(木)～13日(日) シアターイースト

詳細はP9へ



作・演出:岩井秀人
出演:安藤 聖、岩井秀人、岡部たかし、菅原永二、永井若葉、平原テツ、用松 亮

主催:ハイバイ／quinada 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇eyes はえぎわ「ハエのように舞い 牛は笑う」

8月23日(土)～31日(日) シアターイースト

詳細はP12へ



第26回公演「ガラバコスパコス ～進化してんのかしてないのか」
作・演出:ノゾエ征爾
出演:井内ミワク、町田水城、鈴真紀史、滝 寛式、竹口龍茶、踊り子あり、川上友里、鳥島 明、富川 一、山口航太、ノゾエ征爾、笠木 泉、上村 聡(遊園地再生事業団)、河井克夫、橘 花梨

主催:はえぎわ 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇dance BATIK「落ち合っている」

9月4日(木)～7日(日) シアターイースト

詳細はP13へ



ソロ作品「落ち合っている」(2014年3月)

構成・振付:黒田育世
出演:伊佐千明、大江麻美子、寺西理恵、中津留絢香、矢嶋久美子、黒田育世

※キャスト日替り、詳細はBATIK HP(<http://batik.jp/>)にて

主催:BATIK 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

岩井秀人が手掛ける、男たちの大河ドラマ?!

2003年に旗揚げした劇団ハイバイ。10代後半ひきこもりだったという主宰の岩井秀人が、個人的な体験を濾過して人生の悲喜劇に転換、ペーソスに満ちた作品群が観客の心を揺さぶる。劇作家で演出家、俳優でもある彼は、映画、テレビドラマ、バラエティ番組、CMなどの出演歴も。

2012年にNHK-BSプレミアムドラマ『生むと生まれるそれからのこと』で向田邦子賞、翌年『ある女』で岸田國士戯曲賞を受賞。岩松了

や平田オリザらに影響を受けながらも、独創性に満ちた作劇を続ける。

2年ぶりの新作は、性欲期から死期までの男たちを描く大河ドラマ?! 家族間の軋轢、葛藤、確執、トラウマを描き、痛みを伴う笑いの中にままならない人生の奥深さを見せるハイバイ。今のままでいたいと思いつつ経年変化には抗えない、人間が背負う業ともいふべきテーマに挑む。岩井が作品について語り尽くすスペシャルトークもお見逃しなく!

結成15年、ノゾエ征爾が見せる新境地

主宰のノゾエ征爾が大学在学中の1999年に始動、今年15年となる劇団はえぎわ。全作品の作・演出を手掛けるノゾエは、2011年に『春々』で岸田國士戯曲賞最終候補/ミネート、翌年『〇〇トアル風景』で同賞受賞という快挙を達成した。俳優としても活躍し、数々の舞台、映画、テレビドラマ、CMに出演。寄席の楽屋を描き、2013年に公開された神田裕司監督の映画『TOKYOでやんでい』では堂々と主演を務めている。

オリジナリティに富んだ物語、センスのいい笑いと巧みな演出で立ち上がるノゾエワールドが観客を魅了。人間という可笑しくも悲しい存在を独自の視点で捉え、ユーモアを折り込みながら綴る。「チョークと描ける壁があればできる演劇」で新境地に達したというが、15年の重みを軽々と飛び越えるだろう新作に期待がふくらむばかり。元SAKEROCKのベースト、現在はショピン等のメンバーとしても活動する田中馨の生演奏も楽しみだ。

主催:はえぎわ 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

父の死と娘の誕生がもたらした“生き抜く力”

2002年の結成から12年、国内外の公演で評価が高まるBATIKは、振付家でダンサーの黒田育世率いる女性だけのダンスカンパニー。トヨタコレオグラフィアワード:次代を担う振付家賞、朝日舞台芸術賞、舞踊批評家協会賞など数々の受賞歴を誇る黒田は、コンテンポラリーダンスシーンを牽引するフロントランナーのひとり。NODA・MAP作品への振付、中島哲也監督の『告白』出演など、ダンスの枠に留まらず、演劇や映画などジャンルを

軽やかに越境した活動を展開中だ。

昨年父を亡くし、娘を出産した黒田。ふたりはあたかも彼女の中で“落ち合っていた”のかもしれないと感じたという。死め準備として創り始めた前作『おたる鳥をよぶ準備』を経て、今回のテーマは“生き抜く力”と“踏みとどまること”。脈々と受け継がれるいのちの営みを、今この瞬間を生き抜き、ここに踏みとどまるダンサーの躍動する身体を通して、ヴィヴィッドに見せてくれるはずだ。

主催:BATIK 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

eyes plus サンプル「ファーム」

9月19日(金)～28日(日) シアターウエスト

詳細はP14へ



「シフト」

作・演出:松井周
出演:古屋隆太、奥田洋平、野津あおい、羽場睦子、金子岳憲、町田マリー

松井周が放つ1年ぶりの新作に町田マリーが登場

離婚に向け、話し合いを重ねる夫婦。息子もいて、この先なにをモデルに生きていくべきだろうかと途方に暮れる彼らは、人を、モノを、物語を疑い、その間を彷徨う……。

3月にシアターイーストで旗揚げ公演『シフト』の再演を成功させたばかりの劇団サンプルが、今度はシアターウエストに登場。旧作2本の再演を経て、1年ぶりとなる待望の新作を発表する。劇団青年団所属でサンプル主宰の松井周は、気鋭の劇作家で演出家。2年続けて岸田

國士戯曲賞/ミネート、3年目に『自慢の息子』で受賞という、確かな実力の持ち主だ。今回はある家族の物語を軸に、新たに生まれる生命と共有される精神、ヒト、モノ、イキモノのこれまでとこれからを描く。

劇団毛皮族の旗揚げメンバーにして看板女優、町田マリーがサンプル初出演。舞台上に留まらず映画やドラマに活躍の場を広げ、いっそう輝きを増している町田が松井の演出にどう応えるのか、期待して劇場へ。

主催:サンプル／quinada 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成:芸術文化振興基金

二兎社公演 39「鷗外の怪談」

10月2日(木)～26日(日) シアターウエスト

詳細は劇場HPへ



作・演出:永井 愛
出演:金田明夫、水崎綾女、内田朝陽、佐藤祐基、高柳絢子、大方斐紗子、若松武史

明治の文豪・森鷗外。その秘められた内面とは?

舞台は明治末期。政府が思想や言論の弾圧を推し進める中、文学者として表現の自由を尊重する森鷗外は、一方で陸軍軍医総監・森林太郎として国家権力側の要職にあった……。

国歌斉唱、シングルマザー、官僚主義など現代の問題点をユーモラスに、また痛烈に風刺した作品に定評がある二兎社の新作。主宰で劇作家・演出家の永井愛は、個人や家族の日常を描きながら社会問題を丁寧に拘い上げる。観

料金:一般＝5,600円/25歳以下＝3,000円(枚数限定・要証明書提示)/中高生＝1,000円(枚数限定・要学生証提示)
チケット発売:8月9日(土) ふれいす 03-5468-8113

主催:二兎社 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

eyes plus 富士山アネット／Manos.「醜い男」

9月5日(金)～16日(火) アトリエイースト

詳細はP15へ

鋭い空間演出が映し出す、戯曲に潜む「美」



「ダンス的演劇(テアタータンツ)」を標榜し、独自の舞台を提示してきた富士山アネット。演劇に特化したユニット、富士山アネット／Manos.として挑むのは、30カ国以上で上演されている、ドイツ現代作家による『醜い男』。ブラックユーモアにまみれた現代の鏡の様な本作に、見えない「美」を映し出す。

原作:マリウス・フォン・マイエンブルク
翻訳:林 立騎 構成・演出・振付:長谷川寧
出演:板倉チヒロ(クロムモリブデン)、中林 舞、大原研二(DULL-COLORED POP)、福原 冠

主催:富士山アネット 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成:芸術文化振興基金

「ポリグラフ ―嘘発見器―

10月19日(日)～11月2日(日) シアターイースト

詳細は劇場HPへ

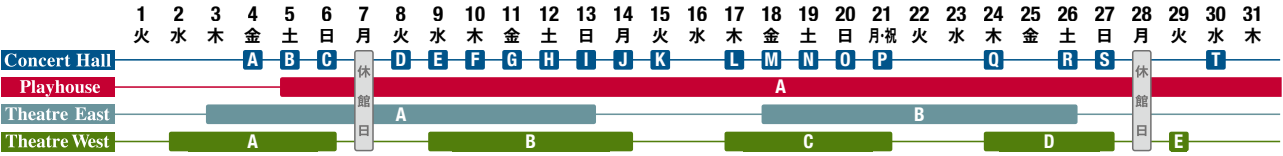
ルパージュ初期代表作の吹越演出版、待望の再演



構想・脚本:マリー・ブラッサール、ロベール・ルパージュ
翻訳:松岡和子
演出:吹越 満
出演:森山開次、太田 緑、ロランス、吹越 満
お得な早割(枚数限定)7月13日(日)より発売
一般発売 8月3日(日)
*東京公演に先駆けて7/9、11月からは、広島、札幌公演も。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成:平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
著作権代理:(株)フランス著作権事務所

2012年、吹越満による新演出で上演され、視覚的に強いインパクトのある斬新な舞台が高い評価を得た。熱い再演希望の声に答えて、今秋、バリ公演を皮切りに同じキャストによる上演が遂に実現! 男女3人の人間関係のミステリアスな展開を「身体」と「視覚」のトリックで描き、観客を美しい“迷宮”へと誘う。



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾソプラノ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 4日(金) 19:00開演 BOX

国立音楽大学
第55回ブラソルケスター定期演奏会

出演 フランソワ・ブーランジェ(Cond)/武田忠善(Cl)/国立音楽大学ブラソルケスター
曲目 プロコフィエフ/ロメオとジュリエット組曲
ヴェルディ(パッサリノ)/「リゴレット」の主題による演奏会用幻想曲
ブートニー/生きる喜び ホルスト/組曲「惑星」より木星
レスピーギ/ローマの松
料金 S:1,500円/A:1,000円/学生:500円
TEL 国立音楽大学演奏課 042-535-9535

B 5日(土) 14:30開演 BOX

東京ニューシティ管弦楽団
第94回定期演奏会

出演 秋山和慶(Cond)/松木さや(Fl)/東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ブーランク/組曲「牝鹿」 イベール/フルート協奏曲
サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付き」
料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円
TEL 東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

C 6日(日) 14:00開演 BOX

新交響楽団 第226回演奏会

出演 飯守泰次郎(Cond)/新交響楽団
曲目 ワーグナー/ワルキューレの騎行、
夜明けとジークフリートのラインへの旅
ブルクナー/交響曲第6番
料金 S:3,000円/A:2,500円/B:1,500円
TEL コンサートイマジジ 03-3235-3777

D 8日(火) 19:00開演 BOX

第9回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 ハルトムート・ヘンヒエン(Cond)/読売日本交響楽団
曲目 プラームス/悲劇的序曲 シューベルト/交響曲第7番「未完成」
プラームス/交響曲第1番
料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

Playhouse

A 5日(土)~8月3日(日) BOX

カッコウの巣の上で

上演台本・演出 河原雅彦 原作 ケン・キージー 脚本 デール・ワッサーマン 出演 小栗 旬/神野三鈴/武田真治/大東駿介/山内圭哉/藤木 孝/吉田鋼太郎 ほか
料金 【全席指定】10,000円/サイドシート:8,000円
TEL ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

Theatre East

A 3日(木)~13日(日) BOX

ハイハイ「おとこたち」

作・演出 岩井秀人 出演 安藤 聖/岩井秀人/岡部たかし/菅原永二/永井若葉/平原テツ/用松 亮
料金 【全席指定】前売(前半割●):3,300円/当日:3,800円/前売(○):3,500円/当日:4,000円/学生(前売・当日共):2,500円(当日受付にて要証明書)/高校生以下(前売・当日共):1,000円(前売は東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い/当日受付にて要証明書)
TEL ハイハイ 080-6562-4520

Theatre West

A 2日(水)~6日(日)

VOGUE ~鏡の国のハサミ~

脚本・演出 関川慶一
出演 堀畑杏奈(キリンプロ)/大真みらん ほか
料金 【全席指定】VOGUE席(特典付き)6,500円/S:5,500円/A:5,000円
TEL 東京パノラマシアター 090-9965-3612

7月	2水	3木	4金	5土	6日
12:30					●
13:00				●	
14:00			●		
17:00					●
18:00				●	
19:30	●	●	●		

B 9日(水)~14日(月)

Peach Boys

脚本 米田 基 演出 森井 睦
出演 宮崎理奈/藤馬ゆうや/齋藤ヤスカ ほか
料金 【全席指定】前売:5,500円/当日:6,000円
TEL 株式会社さばるエンタープライズ 03-3388-1477

7月	9水	10木	11金	12土	13日	14月
13:00				●	●	
14:00		●	●			
15:00						●
18:00				●	●	
19:00	●	●	●			

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 休館日を除く 10:00~19:00
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

ファゴット(Fg)/サクソックス(Sax)/ホルン(Hr)/トランペット(Tp)/トロンボーン(Trb)/ユーフォニアム(Euph)/ヴァイオリン(Vn)/ヴィオラ(Vla)/チェロ(Vc)/コントラバス(Cb)/ハープ(Hp)/ピアノ(Pf)/チェンバロ(Cemb)/オルガン(Org)

K 15日(火) Closed・関係者のみ

共立女子高等学校芸術鑑賞講座
日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会

L 17日(木) 12:15開演 BOX

東京芸術劇場ランチタイム・
パイプオルガンコンサートVol.106

出演 堀切麻里子(Org)
曲目 J.S.バッハ/ファンタジア「来たれ聖霊、主なる神」
柿沼 唯/蓮花〜ミーントーン・オルガンのための〜
J.アラン/リタニー(連弾) ほか
料金 【全席自由】500円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

M 18日(金) 18:30開演 BOX

NIPPON SYMPHONY CONCERT Vol.22

出演 新田 孝(Cond)/田中照子(Pf)/相曽賢一朗(Vn)/NIPPON SYMPHONY
曲目 レスビーギ/ピアノ協奏曲
ベートーヴェン/ヴァイオリン協奏曲、交響曲第3番「英雄」
料金 SS:7,000円/S:6,000円/A:5,000円/B:4,000円
TEL ニッポンシンフォニー 090-6927-3447

N 19日(土) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場 海外オーケストラシリーズ1
フランス国立リヨン管弦楽団

出演 レナード・スラットキン(Cond)/小菅 優(Pf)/石丸由佳(Org)/フランス国立リヨン管弦楽団
曲目 ラヴェル/組曲「マ・メール・ロワ」
ピアノ協奏曲ト長調
サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付き」
料金 SS:14,000円/S:12,000円/A:8,000円/B:6,000円/C:5,000円/D:3,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

7・8月	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木	8/1金	2土	3日
13:00		●						●	●						●	●	●				●	●							●	●
14:00					●	●					●		●							●		●					●			
18:00	●	●						●						●							●							●	●	
19:00					●	●	●					●	●	●					●	●	●					●	●	●		

B 18日(金)~26日(土)

オリジナルミュージカル「パパの誕生日」

脚本・演出・振付・作詞 相良まみ
出演 中島康宏/佐藤亜美菜/Ichi ほか
料金 【全席指定】前売:5,500円/当日:6,000円
TEL ウイングエンターテイメント 03-6452-3046

O 20日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団
第168回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 ハルトムート・ヘンヒエン(Cond)/ポール・ルイス(Pf)/読売日本交響楽団
曲目 マルティヌー/リディアツェへの追悼
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第3番
シューベルト/交響曲第8番「グレート」
料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円/ジュニア:1,500円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

P 21日(月・祝) 14:00開演

東京大学音楽部管弦楽団
サマーコンサート2014東京公演

出演 三石精一(Cond)/東京大学音楽部管弦楽団
曲目 ベルリオーズ/「ローマの謝肉祭」序曲
ブラームス/ハイドンの主題による変奏曲
チャイコフスキー/交響曲第5番
料金 S:1,500円/A:1,000円
TEL チケット担当 090-3507-6045

Q 24日(木) 11:00開演/14:00開演 BOX

日本フィル夏休みコンサート2014

出演 川瀬賢太郎(Cond)/日本女子体育大学新体操部/江原陽子/日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
曲目 〈第1部〉プリテン/青少年のための管弦楽入門 ほか
〈第2部〉アンダーソン/舞踏会の美女
ベートーヴェン/交響曲第7番より第4楽章 ほか
〈第3部〉みんなであうたおう「さんぽ」、「夏の思い出」 ほか
料金 【子供】S:3,200円/A:2,500円/B:1,800円/【大人】S:5,200円/A:4,200円/B:3,200円
TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

休館日 7日(月)・28日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

R 26日(土)

メトロポリス・クラシックス

主催:メトロ文化財団
※6月9日(月)募集終了。当日の追加発券はございません。

S 27日(日) 14:00開演 BOX

ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ
創立40周年記念 第76回定期演奏会

出演 寺岡清高(Cond)/ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ
曲目 ヨハン・シュトラウス2世/皇帝円舞曲
ブルクナー/交響曲第8番
料金 【全席指定】2,000円
TEL 演奏会マネージャー 090-8011-6063

T 30日(水) 19:00開演 BOX

ヨーロッパを席巻する、スーパーチェロ・カルテット
クアトロチェリ

出演 クアトロチェリ
曲目 バッハ/G線上のアリア
映画「ミッション・インポッシブル」のテーマ
映画「ゴットファーザー」より「愛のテーマ」
映画「スター・ウォーズ」より「帝国のマーチ」 ほか
料金 S:5,500円/A:5,000円
TEL MIN-ONインフォメーションセンター 03-3226-9999

	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
Concert Hall	A	B	C			D	E		F	G					H	I			J		K	L	M			N		O	P	Q	
Playhouse	A	A													B							C						D			
Theatre East		A			B																		C								
Theatre West					A								B			C												D			

Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 1日(金) 11:00開演 / 14:30開演 BOX

0歳からのオーケストラ
ズーラシアンプラスmeets東京交響楽団

出演 井田勝大(Cond)/ズーラシアンプラス(金管5重奏)/東京交響楽団
曲目 高橋宏樹/ストローラー・マーチ
ストラヴィンスキー/バレエ音楽「火の鳥」より
〈カスチェイ王の魔の踊り〉
ズーラシアンと東響が繰り広げる「金管オリンピック」
みんなで歌おう!「さんぽ」、「ジョン・ウィリアムズメドレー」 ほか
料金 大人:3,500円/子ども(中学生以下):1,500円
TEL TOKYO SYMPHONY チケットセンター
044-520-1511

B 2日(土) 14:00開演 BOX

日本フィル夏休みコンサート2014

出演 園田隆一郎(Cond)/日本女子体育大学新体操部/
江原陽子/日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
曲目 【第1部】プリテン/青少年のための管弦楽入門 ほか
【第2部】アンダーソン/舞踏会の美女
ベートーヴェン/交響曲第7番より(第4楽章) ほか
【第3部】みんなでうたおう「さんぽ」、「夏の思い出」 ほか
料金 【子供】S:3,200円/A:2,500円/B:1,800円/
【大人】S:5,200円/A:4,200円/B:3,200円
TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

C 3日(日) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団
「作曲家の肖像」シリーズVol.98

出演 マルク・ミンコフスキ(Cond)/東京都交響楽団
曲目 ビゼー/交響曲「ローマ」、「アルルの女」組曲第1番、第2番
料金 S:5,800円/A:4,800円/B:3,800円/C:2,800円/
Ex:2,000円
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

Playhouse

A ~3日(日) BOX

カッコウの巣の上で

上演台本・演出 河原雅彦 原作 ケン・キージー 脚本 デール・ワッサーマン
出演 小栗 旬/神野二鈴/武田真治/大東駿介/山内圭哉/
藤木 孝/吉田鋼太郎 ほか
料金 【全席指定】全席:10,000円/サイドシート:8,000円
TEL ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

8月	1 金	2 土	3 日
13:00		●	●
14:00			
18:00		●	
19:00	●		

B 14日(木)~17日(日) BOX

芸劇dance「睡眠—Sleep—」
勅使川原三郎 新作公演

構成・演出・美術・照明 勅使川原三郎
出演 オーレリー・デュボン/佐東利穂子/勅使川原三郎 ほか
料金 【全席指定】S:7,000円/A:5,500円/高校生割引:1,000円/25歳以下(A席):4,000円/65歳以上(S席):6,000円
※高校生、25歳以下、65歳以上割引は、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

8月	14 木	15 金	16 土	17 日
15:00			●	
16:00		●		●
19:00	●		●	

Theatre East

A 2日(土)~3日(日) BOX

オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 来日公演
「十二夜」(英語上演/日本語字幕)

作 ウィリアム・シェイクスピア 出演・演出 オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) ★=公演終了後、OUDSメンバーとの交流会あり
料金 【全席指定】一般:2,500円/学生:2,000円/高校生:1,000円
※学生・高校生は、東京芸術劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

8月	2 土	3 日
14:00		★
18:00	●	

B 4日(月)~7日(木) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2014

8月	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土
13:00		●						●
14:00					●		●	
17:00		●						
19:00					●	●	●	

Theatre West

A 5日(火)~7日(木) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2014

B 9日(土)~16日(土) BOX

二人芝居／一万年後も君は世界でいちばん美しい

脚本 畑澤聖恒 演出 中屋敷法仁 出演 早乙女太一/松田美由紀
料金 【全席指定】6,000円
TEL サンライズプロモーション 0570-00-3337

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場
ボックスオフィス 0570-010-296 〔休館日を除く 10:00~19:00〕
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

I 17日(日) 14:00開演 無料

おもいっきり音楽体感!
オーケストラがやってきた!

出演 ヘルベルト・フォン・ホリヤン(堀 俊輔)(Cond)/
奥村 愛(Vn)/佐々木りお/東京交響楽団
曲目 ロッシーニ/オペラ「ウィリアム・テル」序曲より(スイス軍の行進)
エルガー/愛の挨拶
久石譲/オーケストラシリーズ「となりのトトロ」 ほか
料金 無料(要往復ハガキまたはインターネット事前申込。7月18
日必着。インターネット申込みは同日17時まで)
※都内在住、在勤、在学対象
TEL 「東京都人材支援事業団ファミリーコンサート」事務局
0120-830-362

J 19日(火) 14:00開演 無料 コンサートホール・エントランス(5階)

東京芸術劇場ティータイム・
コンサートVol.7

出演 栗コーダーカルテット
曲目 未定
料金 【全席自由】入場無料
(当日13時より5階コンサートホール前にて整理券配布・約150枚)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

K 22日(金) 18:00開演 BOX

第12回東京音楽コンクール・本選
金管部門

出演 川瀬賢太郎(Cond)/第2次予選通過者4名予定/
東京フィルハーモニー交響楽団
曲目 本選進出者が演奏する課題曲
料金 【全席自由】2,000円
TEL 東京文化会館事業企画課「東京音楽コンクール」係
03-3828-2116

G 21日(木)~26日(火)

DANCE LEGEND vol.2 「Argentango」

構成・演出・振付 グスタヴォ・ザジャック
出演 湖月わたる/水 夏希/彩吹真央/原田 薫/碓井菜央
料金 【全席指定】8,800円
TEL 梅田芸術劇場 0570-077-039(10:00~18:00)

8月	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火
12:30			●	●		
14:00	●	●				●
17:00			●	●		
18:30					★	
19:00	●					

★=終演後、イベント有

D 28日(木)~31日(日)

Rasta Thomas' BADBOYS of DANCE
「Rock the Ballet 2」

構成・演出 ラスタ・トーマス 振付 エイドリアン・カンターナ
出演 ラスタ・トーマス/大貫勇輔/エイドリアン・カンターナ/
BAD BOYS選抜メンバー
料金 【全席指定】S:8,000円/A:6,000円
TEL 梅田芸術劇場 0570-077-039(10:00~18:00)

8月	28 木	29 金	30 土	31 日
13:00			●	●
14:00		●		
18:00			●	
19:00	★			

★=終演後、ダンスコラボ有

G 23日(土)~31日(日) BOX

芸劇eyes はえぎわ「ハエのように舞い 牛は笑う」

作・演出 ノゾエ征爾
出演 井内ミワク/町田水城/鈴真紀史/滝 寛式/竹口龍茶/踊り子あり/川上友里/鳥島明/富川一入/
山口航太/ノゾエ征爾/笠木 泉/上村 聡(遊園地再生事業団)/河井克夫/橋 花梨
生音楽 田中 馨+1(川村亘平斎:25日、27~31日/オロロトリヒロ:23日、24日、26日)
料金 【全席自由 整理番号付】前売:3,500円/当日:4,000円/高校生割引:1,000円/中学生以下:500円 ※要証明書
TEL <公演について>はえぎわ 070-5366-8809(平日12:00~19:00) <チケットについて>リトルジャイアンツ 090-8045-2079(平日12:00~19:00)

8月	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
14:00		●			●	●		●	●
19:00	●		●	●	●	●	●		

※アフタートークあり。詳細は、はえぎわHPなどで随時発表。

G 17日(日) 開演時間未定

芸協特選落語会

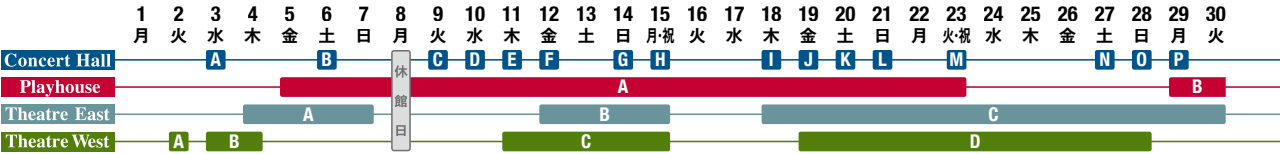
料金 未定
TEL 公益社団法人落語芸術協会 03-5909-3080

D 21日(木)~31日(日)

空 —SORA—

脚本・演出 澤田正俊
料金 【指定】プレミアムシート(前売):4,500円(1公演10席限定)
【指定】前売:4,000円
【自由】前売:4,000円(日時限定)/当日:4,000円
TEL 劇団ZAPPA 080-3129-4930

8月	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
11:30											●
14:00			●	●		●	●		●	●	
16:30											●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●		



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 3日(水) 19:00開演 BOX

第10回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 コルネリウス・マイスター(Cond)/
アリス=紗良・オット(Pf)/読売日本交響楽団
曲目 ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第1番
R.シュトラウス/アルプス交響曲
料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

B 6日(土) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場 コンサートオペラvol.2
G.ヴェルディ 歌劇「ドン・カルロス」パリ初演版
(フランス語全5幕(日本初演))演奏会形式

出演 佐藤正浩(Cond)/フィリップ2世:C.コロンバーラ/
ドン・カルロス:佐野成宏/ロドリゲ:堀内康雄/
宗教裁判長:妻屋秀和/エリザベート:浜田理恵/
エボリ公女:小山由美/修道士:ジョン・ハオ/
ティボ:鷲尾麻衣/天の声:佐藤美枝子/
レルマ伯爵:G.ゴータエ/管弦楽:ザ・オペラ・バンド/
コーラス:武蔵野音楽大学(合唱指揮:横山修司)
曲目 G.ヴェルディ/歌劇「ドン・カルロス」パリ初演版
料金 S:7,000円/A:5,500円/B:4,000円/C:3,000円/
D:2,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

C 9日(火) 19:00開演 BOX

淑徳大学東京キャンパス開設記念
オレンジ世代応援コンサート

出演 広上淳一(Cond)/近藤嘉宏(Pf)/
新日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
プロコフィエフ/歌劇「3つのオレンジへの恋」より<行進曲>
スメタナ/交響詩「わが祖国」より<モルダウ>
菅野祐悟/NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」メイン・テーマ
チャイコフスキー/イタリヤ奇想曲
料金 S:6,000円/A:5,000円/B:4,000円
TEL ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

D 10日(水) 18:30開演 BOX

「SPクラシック・コンサート」
～東京の秋 ミュージック・フェスティバル～

出演 新田 孝(Cond)/加藤ヒロユキ(Ten)/打木真乃(Fl)/
松井利世子(Vn)/田中照子、古賀大路(Pf)/
NIPPON SYMPHONY
曲目 モーツァルト/「フィガロの結婚」序曲、フルート協奏曲第2番
ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲第1番
ブーランク/2台のピアノとオーケストラのための協奏曲
ドラマティック・テノール加藤ヒロユキの華麗なる世界
～オペラ座の怪人のテーマ、「キャッツ」より<メモリー>、
慕情、 津軽のふるさと ほか
料金 SS:7,000円/S:6,000円/A:5,000円/B:4,000円
TEL SPプランニング 090-3227-9895

E 11日(木) Closed・関係者のみ

平成26年度千代田区音楽鑑賞教室

F 12日(金) 19:00開演 BOX

都民劇場音楽サークル第620回定期公演
フレディ・ケンプ ピアノ・リサイタル

出演 フレディ・ケンプ(Pf)
曲目 ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ第30番
シューマン/幻想小曲集op.12、トッカータ
ムソルグスキー/組曲「展覧会の絵」
料金 S:5,000円/A:4,500円/B:4,000円/C:3,000円
TEL 都民劇場 03-3572-4311

G 14日(日) 11:00開演

第69回東京都合唱コンクール

出演 都合唱連盟加盟団体
料金 1,200円
TEL 東京都合唱連盟 03-3544-5433

H 15日(月・祝) 14:00開演 BOX

大いなる秋田東京公演2014

出演 佐々木新平(Cond)/
大いなる秋田東京公演実行記念吹奏楽団・合唱団
曲目 スメタナ/交響詩「モルダウ」(連作交響詩「我が祖国」より)
シベリウス/交響詩「フィンランディア」
石井 敏/合唱とブラスのための楽曲「大いなる秋田」
料金 【全席指定】2,000円
TEL 大いなる秋田東京公演事務局 03-3874-0433

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場 ボックスオフィス **0570-010-296** [休館日を除く 10:00～19:00]
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

I 18日(木) 12:15開演 BOX

東京芸術劇場ランチタイム・
パイプオルガンコンサートVol.107

出演 平井靖子(Org)
曲目 A.レノン/第5施法の奉献曲「バリ市民による王様万歳」
J.S.バッハ/トッカータ、アダージョとフーガハ長調BWV564
料金 【全席自由】500円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

J 19日(金) 19:00開演 BOX

東京都交響楽団 第775回定期演奏会
Aシリーズ

出演 小泉和裕(Cond)/鈴木 学(Vla)/東京都交響楽団
曲目 エロード/ヴァイオラ協奏曲
ブルックナー/交響曲第2番(ノヴァーク版:1877年)
料金 S:6,500円/A:5,500円/B:4,500円/C:3,500円/
Ex:2,000円
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

K 20日(土) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団
第169回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 下野竜也(Cond)/小林英之(Org)/
岡田全弘(読響・首席ティンパニ奏者)(Timp)/
読売日本交響楽団
曲目 J.S.バッハ(ストコフスキー編)/トッカータとフーガBWV565
ブーランク/オルガン、弦楽とティンパニのための協奏曲
サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付き」
料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円/
ジュニア:1,500円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

[休館日] 8日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

L 21日(日) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場Presents プラスウィーク2014
シエナ・ウインド・オーケストラ
第38回定期演奏会

出演 宮川彬良(Cond)/シエナ・ウインド・オーケストラ ほか
曲目 J.P.スーザ/星条旗よ永遠なれ
宮川彬良/吹奏楽のためのソナタ「ブラック・ジャック」
A.リード/アルメニアン・ダンス パートI
R.ロジャース(宮川彬良 編曲)/シャル・ウィ・ダンス?
宮川彬良/新アレンジ作品
L.バーンスタイン(ラヴェンダー 編曲)/
「ウェスト・サイド・ストーリー」より*シンフォニック・ダンス*
料金 SS:5,500円/S:4,500円/A:3,500円/B:2,500円
TEL 一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインド 03-3357-4870

M 23日(火・祝) 14:00開演 無料

陸上自衛隊東部方面音楽隊 第62回定期演奏会

出演 田村 守(隊長)(Cond)/加藤伸明(Cl)/
陸上自衛隊東部方面音楽隊
曲目 ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」全楽章
吹奏楽オリジナル作品、クラリネットコンチェルト ほか
料金 無料(要往復はがきによる事前申込制)
TEL 陸上自衛隊東部方面音楽隊 048-460-1711

N 27日(土) 14:30開演 BOX

東京ニューシティ管弦楽団 第95回定期演奏会

出演 内藤 彰(Cond)/ユーリ・レーヴィッチ(Vn)/
東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ベートーヴェン/序曲「コリオラン」
バガニエーニ/ヴァイオリン協奏曲第2番
シューベルト/交響曲第7番「未完成」4楽章完成版
(キャラガン改訂新版)
料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円
TEL 東京ニューシティ管弦楽団 03-5933-3266

O 28日(日) 14:00開演 BOX

東京芸術劇場Presents プラスウィーク2014
東京佼成ウインドオーケストラ
第120回定期演奏会

出演 ダグラス・ボストック(Cond)/
東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 R.ヴォーン・ウィリアムズ/トッカータ・マルツィアーレ
P.グレインジャー/リンカーンシャーの花束
E.グレッグスン/剣と王冠
G.ジェイコブ/オリジナル組曲
P.グレインジャー/クロニアル・ソング
P.スバーク/宇宙の音楽
料金 S6,000円 A4,500円 B3,500円 C1,000円
TEL 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

P 29日(月) Closed・関係者のみ

城西大学附属城西中学高等学校
第37回音楽祭

Playhouse

A 5日(金)～23日(火・祝) BOX

美輪明宏／ロマンティック音楽会2014

構成・演出 美輪明宏 **演奏** セルジュ染井アンサンブル
出演 美輪明宏
料金 【全席指定】S:9,000円/A:7,000円
TEL パルコ 03-3477-5858

9月	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月・祝	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火・祝
15:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

Theatre East

A 4日(木)～7日(日) BOX

芸術dance
BATIK「落ち合っている」

構成・演出・振付 黒田育世
出演 伊佐千明/大江麻美子/寺西理恵/中津留純香/矢嶋久美子/黒田育世
※キャスト日替り、詳細はBATIK HP(http://batik.jp/)にて
料金 【全席指定】一般:4,000円/学生:3,000円/当日:4,500円
TEL ハイウッド 03-3320-7217

9月	4 木	5 金	6 土	7 日
14:00			●	
15:00				●
19:00	●	●	●	●

Theatre West

A 2日(火) 開演時間未定

春風亭小柳枝一門会

料金 未定
TEL 公益社団法人落語芸術協会 03-5909-3080

B 3日(水)～4日(木) 開演時間未定

芸協特選落語会

料金 未定
TEL 公益社団法人落語芸術協会 03-5909-3080

C 11日(木)～15日(月・祝)

男装音楽劇「星の王子さま」

脚本 寺山修司 **作・演出・振付** スズキ拓朗
音楽・演奏 朝比奈尚行
出演 未唯mie/野口和美/大鶴美仁音 ほか
料金 【全席指定】前売:4,500円/当日:5,000円/
学生前売:3,500円/学生当日:4,000円
TEL 青蛾館 080-1614-6114

9月	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月・祝
14:00		●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●

B 29日(月)～10月13日(月・祝) BOX

小指の思い出

作 野田秀樹 **演出** 藤田貴大
出演 勝地 涼 鮎屋法水 青柳いづみ 山崎ルキノ 川崎ゆり子 伊東茄那 小泉まさ
石井亮介 斎藤章子 中島広隆/宮崎吐夢 山内健司 山中 崇/松重 豊
料金 【全席指定】S:5,500円/A:4,500円/高校生:1,000円/25歳以下(A席):3,500円/65歳以上(S席):5,000円 ※高校生、25歳以下(A席)、65歳以上(S席)、各種割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限り・要証明書)
「小指の思い出」・「半神」セット券:9,000円/1名様分(S席・枚数限定・前売のみ)※東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

9・10月	29 月	30 火	10月 1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月・祝
14:00			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★=終演後、ポストパフォーマンスストークあり
○=視覚障害者のための「舞台説明会」、聴覚障害者のための「ポータブル字幕機提供」実施

B 12日(金)～15日(月・祝) BOX

演劇系大学共同制作 vol.2
「見よ、飛行機の高く飛べるを」 ※公演スケジュールはお問い合わせ下さい。

作 永井愛 **演出** 越光照文
出演 演劇系大学 大学生
料金 一般:2,000円/大学生:1,500円/中学生:1,000円
TEL 桐朋学園芸術短期大学 地下演劇研究室(土曜・日祝休) 03-3300-3917(7月末まで)
drama-p@toho.ac.jp

D 19日(金)～28日(日) BOX

eyes plus サンプル「ファーム」

作・演出 松井周
出演 古屋隆大/奥田洋平/野津あおい/羽場睦子/
金子岳恵/町田マリー
料金 【全席指定】前売(前半割○):3,200円/当日:3,500円/前売(●):3,500円/当日:3,800円/
学生(前売・当日共):2,500円(当日受付にて要証明書)/高校生割引(前売のみ):1,000円(東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い/当日受付にて要証明書/枚数限定)
TEL サンプル 090-2903-8363(10:00～20:00)

9月	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火・祝	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日
14:00			○				●			●
18:30		○		●	●	●	●	●	●	●
19:00	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★=終演後、ポストパフォーマンスストークあり
料金 【全席指定】前売(前半割○):3,200円/当日:3,500円/前売(●):3,500円/当日:3,800円/
学生(前売・当日共):2,500円(当日受付にて要証明書)/高校生割引(前売のみ):1,000円(東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い/当日受付にて要証明書/枚数限定)

Gallery 1				
7	10日(木)～13日(日) 無 料 蜷川宏子キルトファクトリー 第八回展示会 TEL 石塚 0424-76-2562	18日(金)～21日(月・祝) 無 料 第4回 墨輪展 TEL 森 0297-45-6076	23日(水)～27日(日) 無 料 21世紀の書＝破体 (松本筑峯遺作展・第55回破体展) TEL 東洋書道芸術学会 042-626-6806	30日(水)～8月3日(日) 無 料 10周年記念 水彩連盟埼玉西支部展 TEL 水彩連盟埼玉西支部事務所 049-286-2419
	～3日(日) 無 料 10周年記念 水彩連盟埼玉西支部展 TEL 水彩連盟埼玉西支部事務所 049-286-2419	4日(月)～10日(日) 無 料 第29回 日本の海洋画展 TEL 一般財団法人全日本海員福祉センター 飯田 03-3475-5391	20日(水)～23日(土) 無 料 FOUND ART EXHIBITION 芸術の絆 KI-ZU-NA TEL クリエイト・アイエムエス株式会社 03-5318-9061	24日(日)～27日(水) 無 料 第22回 臨書と自由書作品展 -日本・ポーランド 100年『道』- TEL 高橋 03-3371-5123
8	2日(火)～7日(日) 無 料 2014 全日本山岳写真展 TEL 全日本山岳写真協会 関谷 03-3634-8030	9日(火)～14日(日) 無 料 秋の日本水墨画展 TEL 竹中 048-474-2239	19日(金)～23日(火・祝) 無 料 Gallery1・2同時開催 としま区民芸術祭 豊島区総合美術展 TEL 公益財団法人としま未来文化財団 みらい文化課 プランセクション 03-3590-7118	28日(木)～31日(日) 無 料 Gallery1・2同時開催 僕らの書展2014 TEL 佐藤 090-5544-3060
9	24日(日)～27日(水) 無 料 小野寺観洲喜寿書展 併催・書を志した教え子五人展 TEL 小野寺 03-3935-6641	28日(木)～31日(日) 無 料 Gallery1・2同時開催 僕らの書展2014 TEL 佐藤 090-5544-3060	10日(水)～14日(日) 無 料 第34回 国際書道連盟役員展 TEL 湯口 03-3907-2150	15日(月・祝)～19日(金) 無 料 第2回 心和書道会小品展 TEL 庭野 048-479-4440

Gallery 2				
8	24日(日)～27日(水) 無 料 小野寺観洲喜寿書展 併催・書を志した教え子五人展 TEL 小野寺 03-3935-6641	28日(木)～31日(日) 無 料 Gallery1・2同時開催 僕らの書展2014 TEL 佐藤 090-5544-3060	10日(水)～14日(日) 無 料 第34回 国際書道連盟役員展 TEL 湯口 03-3907-2150	15日(月・祝)～19日(金) 無 料 第2回 心和書道会小品展 TEL 庭野 048-479-4440
	26日(土)～27日(日) 無 料 金英淑・康貞奈 二人展 TEL 金 090-4226-4367	28日(木)～31日(日) 無 料 Gallery1・2同時開催 マーレン会 第6回作品展 TEL 長谷川 03-3203-1021	21日(日)～23日(火・祝) 無 料 Gallery1・2同時開催 としま区民芸術祭 豊島区総合美術展 TEL 公益財団法人としま未来文化財団 みらい文化課 プランセクション 03-3590-7118	25日(木)～28日(日) 無 料 Gallery1・2同時開催 第11回 ≪書統≫全国展 TEL 菅原書房 田中 03-3462-5251
9	4日(月)～7日(木) Closed・関係者のみ Atelier East・West同時開催 地域創造フェスティバル2014	24日(日)～27日(水) 無 料 Atelier East・West同時開催 第5回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665	5日(金)～16日(火) BOX eyes plus 富士山アネット／Manos. 「醜い男」 TEL マリウス・フォン・マイエンブルク TEL 林 立騎 TEL 長谷川 孝 TEL 板倉チヒロ(クロムモリブテン)／中林 舞／大原研二(DULL-COLORED POP)／福原 冠 TEL (9/5～9/10) 一般前売2,800円／当日3,300円／学生前売2,500円／学生当日2,800円 (9/11～9/16) 一般前売3,000円／当日3,500円／学生前売2,700円／学生当日3,000円 TEL 富士山家 080-5496-7555 ※詳細スケジュールは劇場HPへ	20日(土)～23日(火・祝) 無 料 第二十五回 泰永書展 TEL 泰永会事務局(也太奇内) 03-3332-3701

Atelier East				
7	26日(土)～27日(日) 無 料 金英淑・康貞奈 二人展 TEL 金 090-4226-4367	28日(木)～31日(日) 無 料 Gallery1・2同時開催 マーレン会 第6回作品展 TEL 長谷川 03-3203-1021	5日(金)～16日(火) BOX eyes plus 富士山アネット／Manos. 「醜い男」 TEL マリウス・フォン・マイエンブルク TEL 林 立騎 TEL 長谷川 孝 TEL 板倉チヒロ(クロムモリブテン)／中林 舞／大原研二(DULL-COLORED POP)／福原 冠 TEL (9/5～9/10) 一般前売2,800円／当日3,300円／学生前売2,500円／学生当日2,800円 (9/11～9/16) 一般前売3,000円／当日3,500円／学生前売2,700円／学生当日3,000円 TEL 富士山家 080-5496-7555 ※詳細スケジュールは劇場HPへ	20日(土)～23日(火・祝) 無 料 第二十五回 泰永書展 TEL 泰永会事務局(也太奇内) 03-3332-3701
	4日(月)～7日(木) Closed・関係者のみ Atelier East・West同時開催 地域創造フェスティバル2014	24日(日)～27日(水) 無 料 Atelier East・West同時開催 第5回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665	28日(木)～31日(日) 無 料 Gallery1・2同時開催 マーレン会 第6回作品展 TEL 長谷川 03-3203-1021	24日(水)～28日(日) 無 料 東風会 第7回 作陶展 TEL 岸田 0422-43-8394
8	5日(金)～16日(火) BOX eyes plus 富士山アネット／Manos. 「醜い男」 TEL マリウス・フォン・マイエンブルク TEL 林 立騎 TEL 長谷川 孝 TEL 板倉チヒロ(クロムモリブテン)／中林 舞／大原研二(DULL-COLORED POP)／福原 冠 TEL (9/5～9/10) 一般前売2,800円／当日3,300円／学生前売2,500円／学生当日2,800円 (9/11～9/16) 一般前売3,000円／当日3,500円／学生前売2,700円／学生当日3,000円 TEL 富士山家 080-5496-7555 ※詳細スケジュールは劇場HPへ	24日(日)～27日(水) 無 料 Atelier East・West同時開催 第5回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665	28日(木)～31日(日) 無 料 Gallery1・2同時開催 マーレン会 第6回作品展 TEL 長谷川 03-3203-1021	30日(火)～10月5日(日) 無 料 能面倉林会 能面展 TEL 倉林 080-5678-1736
9	1日(火)～6日(日) 無 料 くれよん展 TEL 片岡 03-3933-5206	22日(火)～27日(日) 無 料 美容界美術家クラブ絵画展 TEL 早川 045-983-2540	4日(月)～7日(木) Closed・関係者のみ Atelier East・West同時開催 地域創造フェスティバル2014	24日(日)～27日(水) 無 料 Atelier East・West同時開催 第5回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665

Atelier West				
7	1日(火)～6日(日) 無 料 くれよん展 TEL 片岡 03-3933-5206	22日(火)～27日(日) 無 料 美容界美術家クラブ絵画展 TEL 早川 045-983-2540	4日(月)～7日(木) Closed・関係者のみ Atelier East・West同時開催 地域創造フェスティバル2014	24日(日)～27日(水) 無 料 Atelier East・West同時開催 第5回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665
	10日(水)～14日(日) 無 料 酒井康堂・子遠一門会 忘形印社展 TEL 周 080-6670-0567	15日(月・祝)～19日(金) 無 料 一会の会展 TEL 長谷川 03-3954-4352	29日(金)～31日(日) 無 料 珠紅会書展 TEL 黒木 03-3915-6893	29日(月)～10月5日(日) 無 料 サロンDEボンドールの会 会員展 TEL 浜崎 03-5932-1518
8	4日(月)～7日(木) Closed・関係者のみ Atelier East・West同時開催 地域創造フェスティバル2014	24日(日)～27日(水) 無 料 Atelier East・West同時開催 第5回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665	29日(金)～31日(日) 無 料 珠紅会書展 TEL 黒木 03-3915-6893	29日(月)～10月5日(日) 無 料 サロンDEボンドールの会 会員展 TEL 浜崎 03-5932-1518
9	10日(水)～14日(日) 無 料 酒井康堂・子遠一門会 忘形印社展 TEL 周 080-6670-0567	15日(月・祝)～19日(金) 無 料 一会の会展 TEL 長谷川 03-3954-4352	20日(土)～23日(火・祝) 無 料 第21回 創作者集団アートビックス展 TEL 黒木 03-3805-5111	24日(水)～28日(日) 無 料 第29回 新生会展 TEL 二平 03-3933-5954

PICKUP

オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 来日公演「十二夜」

英語上演・日本語字幕付き

8月2日(土) 18:00開演・3日(日) 14:00開演 シアターイースト

詳細はP11へ



作:ウィリアム・シェイクスピア
演出・出演:オックスフォード大学演劇協会(OUDS)

イギリスの名門学生劇団が演じる、恋のドタバタ喜劇!

オックスフォード大学演劇協会(OUDS)は、英国の名門オックスフォード大学の学生たちによって構成された由緒ある学生劇団です。1885年に創設され、現在に至る100年以上の歴史の中で常に若い才能を育み続け、英国演劇界や映画界をはじめ世界で活躍する数々のスターたちを輩出しています。

シェイクスピア生誕450周年にあたる今年、OUDSの来日公演は12回目を迎えます。今年の演目は、シェイクスピア喜劇の中でも

最高傑作との呼び声が高い『十二夜』。双子の兄を亡くしたと思った妹が男装して兄そっくりの姿となったことから始まる、男女の取り違いや思い込み。大混乱の恋愛騒動を、オックスフォード大学の学生たちが生き生きと演じます。

イギリスの若者たちの躍動感あふれるフレッシュな演技、そして美しいブリティッシュイングリッシュによるシェイクスピア作品の原語上演を日本語字幕付きでお楽しみください。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区 助成:平成26年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

集まれ!池袋みんなの大道芸

9月～10月の週末(開催日の詳細はH Pでご確認ください。) 劇場前広場



加納真実

厳選された一流のストリートパフォーマーたちにより大いに盛り上がったゴールデンウィークの『集まれ!池袋みんなの大道芸』。引き続き9月と10月の週末での開催が決定しました!劇場前広場という場所でおこなわれることを考え選出されたパフォーマーは、技やテクニクは勿論のこと、その場の空気を一瞬で変えてしまうほどの魅力をもつメンツばかり。そんな彼らのパフォーマンスで劇場前広場にいったいどんな景色が広がるのか? 日常が非日常へと変わる瞬間をぜひ確かめ

にいらしてください!ジャグリングに挑戦できるチャレンジ広場も引き続き開催中です。東京都公認の大道芸人‘へブンアーティスト’のパフォーマンスとあわせて、まさにみんなの大道芸となるべく盛り上がってきた劇場前広場。皆様のお越しをお待ちしております!!

お問合せ | 東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区
助成:平成26年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

近藤良平・コンドルズ 池袋大作戦!! にゅ～盆踊り

8月10日(日) 17:00～ 池袋西口公園(池袋西口すぐ 東京芸術劇場前)



撮影:浦井盛志

近藤良平・コンドルズと一緒に池袋の街で盆踊り大会に参加しませんか?2009年から毎年開催している大好評の‘にゅ～盆踊り’大会。今年も8月10日(日)池袋西口公園での開催が決定しました!この盆踊り大会は、近藤良平振付のオリジナル盆踊り‘にゅ～盆踊り’をメインにしており、思わず笑ってしまうユニークな仕掛けが満載。当日一緒に盛り上げてくれる盆踊りリーダー(ワークショップ参加者)も大募集しています。区内の各会場(8カ所)に、近藤・コンドルズが出張してオリジナ

ル盆踊りを伝授。事前のワークショップに参加して、盆踊りリーダーとなって盛り上げ役になるもよし。当日、ふらっと参加するもよし。踊っておどって、池袋の街をジャックしちゃいましょう!!

お問合せ | あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
03-5391-0751 http://www.owlspot.jp

主催:あうるすぽっと(公益財団法人としま未来文化財団)／豊島区
共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
企画製作:あうるすぽっと
助成:平成26年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ



VOICE.7
演出家
ソン ジン チェク
孫 振策 (Sohn Jin-Chaek)

「演劇」という名の冒険 ― 日韓の演劇事情

今秋、ソウルと東京で上演される国際共同制作作品『半神』の準備のために、度々ソウルを訪れている野田秀樹。オール韓国キャストによる『半神』の演出という冒険的試みに意欲をみせる野田秀樹は、ワークショップ形式のオーディションの合間を縫って、韓国を代表する演出家のひとり、孫 振策と再会、昨今の日韓の演劇事情について語り合った。

構成・文：編集部
photo: CHOI YONG SEOK

日韓共同制作『半神』の立ち上げ〜 昨今の韓国現代演劇事情

編集部 今年の秋に野田さんの『半神』を、東京芸術劇場と明洞芸術劇場の共同制作としてソウル、そして東京で上演することになりまして、まずはそのあたりのことからお話を進めていただければと思います。

野田 孫さんとはいつ初めてお会いしたかな？

孫 おそらく『キル』ではないでしょうか？

野田 でも、初めてお会いしてからもう20年くらいは経っているような気がしますね。

孫 (ソウルでおこなった『半神』のためのオーディションには) いい俳優が集まりましたか？

野田 そうですね。『赤鬼』と一緒に仕事をした俳優も参加してくれました。そういう時

間の積み重ねがあるのは嬉しいことですね。まだキャストの最終決定はしていないのですが。

孫 みな、野田さんの作品には出演したいでしょうね(笑)。話は変わりますが、実は今、私は半月間の断食中なんです。

野田 えっ、そうなんですか？食欲はないのですか？

孫 少し懺悔のような気持ちでやっているのです。今まで欲望のままに食べてきてしまいましたし、どうもお腹が出てきたのも嫌で(笑)。1ヶ月前くらいから調整して8kgくらい痩せました。もちろん野田さんにはまったく必要ないことでしょけど(笑)。昨年11月に国立劇団との契約任期が終了し、一度自分自身を空っぽにすることが大切かなと思い始めて。

野田 韓国の演劇界を巡る状況はどうです

か？

孫 韓国では、以前は民間の劇団が活発で、公共の劇団はマンネリ化し停滞していたのですが、今は状況が逆転して、公共の劇団の方が活発で、民間の劇団は少し停滞しているような気がします。



NODA HIDEKI

野田 若い世代はどうですか？韓国の若手演劇はとても活発な印象がありますが。

孫 確かに(大学の)演劇学科や映画学科を卒業した人たちを中心に頑張っていると思います。韓国にはそうした大学が70校以上もあるんですよ。私立大学は人気取りのためにそうした学科を創設している面も否めませんが、ただ、どちらかというと演劇よりは映像の世界に興味を持っている人が多いかも知れませんね。もちろん(この世界は)数より質が大切なのですが、今はまだ質が追いついていない状況もあります。映画専攻と演劇専攻ははっきりと分かれていない部分もありますが、韓国では、実力のある俳優は、なべて映画やTVの世界を目指そうとしている人が多いとは思いますが。

野田 なるほど。日本では、演劇を目指す、というか舞台上芝居をするというより、まずは芸能事務所に入ってタレント業をするという道があります。

孫 韓国も同じような状況です。TVドラマでデビューして、のちに演劇の世界で本格的な演技の勉強をする。でも、日本では積極的に舞台にも出演する俳優が多くいると思いますが、韓国では映画やTVで売れている俳優たちは、演劇や舞台には出演したらない人が多いのです。

舞台芸術への公的支援

野田 一般的な俳優たちのそうした傾向は、日本もたいして変わらないですよ。演劇や舞台芸術の世界のことで言えば、国際舞台芸術フェスティバルの規模なんかは、韓国の方がずっと規模も大きくて充実していますよね。

孫 確かに他国と比べて韓国政府の芸術文化支援はかなり強力だとは思いますが。政府や公的機関が積極的に文化芸術支援策を推し進め始めたのはここ10年くらいだと思いますが。こうした政策にはメリットとデメリットの両側面があります。つまり、以前の演劇人は、豊かな生活とか、家庭的な幸福とか、そうした何かを犠牲にしてまで演劇に情熱を傾けていた部分が大きくありましたが、今は(政府などの)公的支援がなければ演劇を志すこともせず、作品を作らないようになってきてしまっている…つまり、そうしたデメリットの部分も感じています。

野田 それは確かにそうかもしれない。僕も世代的に、公的支援なんて考えてもいなかった世代だから、基本は「誰が何と言おうと、自分は演劇が好きだからやる!」という姿勢であり続けている。それに比して今の若い世代は助成金などをとることに実に長けている。時として、芝居がしたいのか、助成金をもらいたいのか、わからない部分すらある(笑)。だからといって助成金なんて必要ない、ということでもないんですけどね。

孫 まったく同感です。昔の方が良かった、とは言い切れない。もしかすると今は文明史の転換期なのかも知れませんね。文明というのは、かつては宗教的であったり、生き方そのものであった、それが今は、より“欲望”と結びつきの深いものになっているのではない。今の時代は“意味”より“イメージ”の方が大切で、また“精神”より“身体”、“価値”より“欲望”に重きが置かれる時代なのかも知れません。“過程”より即“結果”を求める傾向とも言えるかも知れません。それに対して演劇は何ができるのか、演劇のあり方はどうあるべきか、ということを考えなければいけないのではないのでしょうか。演劇というのは作る過程が大切だと思うのですが、より結果や成果を求められる時代になってきたということかも知れません。

野田 耳の痛い話ですね。今の時代にどんな演劇を続けられればいいのか…。

編集部 韓国では、総じて演劇公演に若い観客が多いと思います。実際のところどうなんですか？

孫 韓国では企業も文化芸術支援を活発におこなっています。そうした動きの背景には、文化芸術を支援しないと、本業である商売もうまくいかないという空気があるんです。つまり、基本的には文化芸術支援も資本主義システムと不可分なんです。私が80年代にはじめて演劇の勉強をしにイギリスに行った時には、どの劇場にも年配の目の肥えた観客が大勢いることが、とても羨ましかったことを覚えています。逆に、若い観客だけしかいない演劇は、観客層の厚みが足りない、とも言えませんか。

野田 確かに僕も93年にロンドンに行った時に同じような感をもちました。その頃は僕もまだ若い世代に属していて、いわゆる本格

的な現代演劇をみる習慣はあまりなかった。で、慌てて背伸びをしてたくさん現代演劇を見ました。今も状況は同じで、若い人はそれほど背伸びをしようとはしていない気がする…メンタリティの問題もあるのかも知れない。若い人たちにそこは問いかけていきたいとも思います。

孫 今の若者たち明日のことなんて考えていないから。

野田 それはいつの時代でも同じですね(笑)。

孫 若い世代は、演劇が、自分が対価を払うに見合うものかどうかを計っているような気がします。



SOHN JIN-CHAEK

野田 若い世代に限らず、以前は、演劇をみて思索することこそが愉しみの大きな要素だったのに、今はより消費型になっているのかも知れませんね。「あ一面白かった。」とってすぐに忘れてしまえるようなものが好まれてしまう。思考することこそが大切かどうか、愉しみのひとつなのに、すぐにでる結果を求め過ぎなのかも知れませんね。

孫 同感です。特に若い頃は、悩んだり難題に向き合うことは、楽しいことでしたよね。文化と資本の結びつきがますます強くなってきていると感じています。

野田 例えば、普通の人が「数字がとれた。とれない。」という言い方をするようになったりするでしょ？そんな表現を聞いていると一億総業界人化しているように思える。

孫 今の時代は、ネットとスマホの時代です。なので必要以上に数字に気を取られる。もしかすると、演劇という表現は、もう少し狭いコミュニティにこそ向けるべきものなのかも知れない。

野田 インターネット検索でトップに持てく

ることは、資金力を使って操作もできる。そうした意味では、今の時代は、報道ニュースですら、ある種の「表現」というか恣意的な情報になってきている。別に芸能人の話なんて見たくもないのに、ネットを通じていやがおうにも目に飛び込んできてしまう。そうした環境下で、演劇はどこに向かうべきなのか。かといってただ狭いところに追い込んでいくのも違う気がする。

孫　なので、今の自分にできることは、物事の本質を再度見極め、問題提起することだと考えています。

野田　それで断食を?(笑)

孫　いやそれは(笑)。

韓国と日本の差異

編集部　野田さんが韓国で仕事をするのは今回で三度目(『赤鬼』『THE BEE』に続いて)になりますね。

孫　私も以前、日本人俳優と何度か仕事をしてきているのですが、実際やってみると、(日本と韓国では)とても違うなと感じました。どちらかという韓国人は右脳、日本の人は左脳が優れている、と。日本の演劇システムはとてもよくできていて、演技にもあ

る種の“型”がある。韓国の俳優は、そうした“型”にはまることになり違和感があって、どちらかという“即興”を好むというか、自由であることを好む傾向があります。ご存じの通り、韓国の生活文化には大きく言うところの側面があります。ひとつの側面は「儒教文化」そしてもうひとつは「シャーマニズム」です。つまり、表向きは模範的であろうとする心理と、それとは逆に規範から逃れようとする心理面とのふたつの強烈なメンタリティがせめぎ合っている。伝統舞踊や伝統音楽、さらに言えば韓国のここ最近の目覚ましい経済発展も、そうしたふたつのメンタリティに支えられていると思います。ですので、野田さんには、そうした韓国人俳優が持っている自由奔放さやダイナミズムをうまく活用してほしい、という期待があります。私は、『アジア温泉』という作品で、日本の俳優さん達からも開放性や遊び心をなんとか引き出そうと試みたのですが、なかなかうまくいきませんでした(苦笑)。地理的にみても、イタリアや韓国のように半島に住む人たちはどちらかというと即興的で情熱的、イギリスや日本のような島国の人たちはどちらかというと内向的で、感情を内に秘めるタイプが多いのではないですか。

野田　なるほど、それはおもしろい分析ですね。シャーマニズムというのは、原始信仰というか、巫女の世界感ですよ。そして韓国人は、僕の目には儒教的なところや生真面目にみえるところがある。なので僕は、あえて不真面目ということではないのだけど、柔らかなところから入ろうとして、その上でシャーマニズム的なものが見つかる、とても楽しいんですよ。俳優だけでなく、観客も足を踏み鳴らしてくれたりして、とにかく熱量がある。今回もそうした韓国人の特性をかいくぐって、共同作業を試みたいと思っています。

孫　韓国の俳優は、演出家が細かく決め込むのではなく、遊ばせると喜ぶますからね。

野田　ですよ!なので今回のオーディションも何も決めずに始めました(笑)。

孫　そういえば、以前『半神』も見たことを今になって思い出しました。素晴らしかった。

野田　コクーンでの再演のやつですね、どうもありがとうございます。今回も楽しみにしています。

今回のアイタイヒト

孫振策 SOHN JIN-CHAEK

ソン・ジンチュク　演出家。1947年生まれ。韓国の伝統芸能の手法を現代劇制作に生かした演出家として国内外で知られる。67年劇団山河に入団。学生時代より韓国伝統芸能の構造に関心をもち資料を収集。74年『ソウル・マルトッキ』で演出デビュー。81年より上演し続けている『マダンノリ』は、国民的人気を博している。82年ロンドンRSCで研修。86年劇団美蘭創立。88年ソウル・オリンピック文化芸術祝典「漢江祭」総監督。98～00年ソウル国際演劇祭芸術監督。02年ワールドカップ開幕式総演出など国家的イベントの演出も手掛ける。さらに、01年日韓共同制作「火計り」、04年新国立劇場「The Other Side—線—のむこう側」など日本での演出作品も多い。

野田秀樹 NODA HIDEKI

のだ・ひでき　劇作家・演出家・役者。1955年長崎県生まれ。東京大学在学中に「劇団 夢の遊眠社」を結成、一大ブームを巻き起こし92年に解散。ロンドン留学を経て93年、NODA・MAP設立。『キル』『バンドラの鐘』『オイル』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『南へ』『エッグ』『MIWA』など次々と話題作を発表。故 中村勘三郎と組んで歌舞伎「野田版 研辰の討たれ」「野田版 鼠小僧」「野田版 愛宕姫」の脚本・演出を手掛けるほか、海外の演劇人と積極的に作品を制作するなど、演劇界の旗手として国内外を問わず、精力的な活動を展開。04年5～6月には「THE BEE」English Versionをパリ、ルクセンブルク、ドイツにて上演し、高い評価を得る。09年、東京芸術劇場芸術監督に就任。多摩美術大学教授。

国際共同制作『半神』 原作・脚本:萩尾望都 脚本・演出:野田秀樹
2014年9～10月 ソウル、東京を巡回。

『エッグ』作・演出:野田秀樹
2015年2～4月 東京、パリ、大阪、北九州を巡回予定。

www.geigeki.jp



東京芸術劇場×明洞芸術劇場 国際共同制作

「半神」 原作・脚本:萩尾望都 脚本・演出:野田秀樹

1986年の初演以来、高い評価と人気を誇る傑作「半神」を野田秀樹自身が再演出、オール韓国人キャストで上演!

東京公演:10月24日(金)～10月31日(金) (27日は休演) 会場:プレイハウス
出演:チュ・イニョン チョン・ソンミン ほか
料金:S席 5,000円 A席 4,000円 S席ペア券 8,500円/2枚 65歳以上(S席) 4,500円
25歳以下(A席) 2,000円 高校生 1,000円 (全席指定・税込)
チケット一般発売:8月2日(土)

韓国公演:9月12日(金)～10月5日(日)
会場:明洞芸術劇場(韓国・ソウル) <http://www.mdtheater.or.kr/home/main.aspx>

東京公演 主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

共催:明洞芸術劇場 独立行政法人国際交流基金
韓国公演 主催:明洞芸術劇場 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 独立行政法人国際交流基金
企画協力:NODA・MAP 株式会社小宇館 オフィシャル・エアライン:ANA

<野田秀樹作品セット券>

「半神」と「小指の思い出」の
お得なセット券を一般発売に
先がけて先行販売いたします。

料金:9,000円 1名様分
(全席指定・税込・S席・枚数限定・前売のみ)
セット券発売開始:7月19日(土)
取扱:東京芸術劇場ボックスオフィス

「小指の思い出」 詳細はP14へ

作:野田秀樹
演出:藤田貴大

9月29日(月)～10月13日(月・祝)
(10月1日は休演)
プレイハウス
料金:S席 5,500円 A席 4,500円 ほか
(全席指定・税込)

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成:平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

14年5月13日(火)～17日(土) パリ・国立シャイヨー劇場

野田秀樹「THE BEE」English Version ヨーロッパツアー 2014 in パリ

原作:筒井康隆 ～「罇りあい」(新潮社)より～

共同脚本:野田秀樹&コリン・ティーバン

演出:野田秀樹

出演:グリン・プリチャード、ペトラ・マッシー、デヴィッド・チャールズ、野田秀樹

「THE BEE」English Version ヨーロッパツアー 2014

5月13日(火)～17日(土) PARIS (FRANCE) パリ・国立シャイヨー劇場

5月27日(火)、28日(水) LUXEMBOURG (LUXEMBOURG) ルクセンブルク市立劇場

6月2日(月)～4日(水) RECKLINGHAUSEN (GERMANY) ルール・フェスティバル

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成:国際交流基金 制作協力:NODA-MAP



「THE BEE」English Version ヨーロッパツアー 2014 パリ・国立シャイヨー劇場 フランス初演
左:グリン・プリチャード 中央:野田秀樹 右:ペトラ・マッシー

「支配者」を脅えさせる、蜂とは？ 暴力と人間の関係を問う『THE BEE』に、パリの観客も驚嘆

2014年5月17日の晴れた午後、野田秀樹演出『THE BEE』英語版のパリ公演最終回を見るため、エッフェル塔に近い国立シャイヨー劇場の扉を開けた。広い大理石階段を下りて特設会場に向かう間に、期待がふくらむ。2013年初夏のシビウ国際演劇祭で見た本作の高い完成度を築いたキャストが、今回は変わるのだ。井戸役のキャサリン・ハンターと百々山警部役のマルチェロ・マーニが、別の俳優に交代。そして、英語版では小古呂の妻役を担ってきた野田が「平凡な会社員から非道な犯罪者と化す井戸」を演じる新ヴァージョンは、どう変貌を遂げたのか？

開演後まもなく、光の演出に驚く。パリの長い日照時間をいかし、窓から陽がさすなかで芝居は始まった。やがて、家路を歩む井戸が「自宅に妻子を人質にして、脱獄囚の小古呂が立てこもった」と知ったとたん、会場は暗くなる——日常から別世界にさらわれた井戸の衝撃に、観客を共振させる効果が生まれた。新メンバーを加えた四人の俳優は、暴力による支配の構造を細やかに表現。小古呂の妻

役のペトラ・マッシーの意志のない人形に似たうつろな瞳と、百々山警部役のデヴィッド・チャールズの傲慢な態度は、弱者を切り捨てる冷たい社会も感じさせた。一段と深化した人物の解釈に関しては、終演後に聞いた野田の言葉を引こう。

原作にはない人質の描写について、小古呂の妻を演じた経験を振り返りながら野田は語る。「暴力を受ける側の人間が逃げる意欲を失うまで支配されてしまう感覚を、ペトラに伝えました。子どもを助けられない自分の非力さに疲れきり、無表情に陥った状態を表してほしかった。何故こんなひどい状況で暮らしながら、無表情でいられるのか、とお客さんが疑問を抱くように。悲惨な状況に慣れざるを得ない人間が生きている事実を、観客に理解してもらうことも大切ですから」

憎むべき井戸の食事を作り、息子の指を封筒にくるむマッシーの姿から、独裁者に抑圧される人々が透ける。戦時下の残虐行為についても、野田は思索を続けてきた。

「キャサリンたちと稽古をはじめた当時から、戦場における人間の行動について議論を重ねました。ふだんは優しい人間が戦場の兵士になると、急にむごたらしいことをしでかす。そのメカニズムは決して特殊な人間だけのものではないんですね。井戸に暴力を習慣にするスイッチが入ったとき、被害者である女性と子どもは、残酷な環境に鈍化せざるを得ない戦場の人のように暮らすしかなかった」

野田の演じる井戸は小古呂の家で君臨していく過程で、怪物性を帯びる。子どもをいたわると思えば、小さな手に刃物を当て、蜂の羽音に脅え狂騒的に踊る。瞬時に切り替わる振幅の大きい演技は、観客を爆笑させ、また凍りつかせる。ハンターが男性役で野田が女性役というジェンダー交換の妙味に代わり、井戸の内面が強く迫ってきた。

悲惨な末路をたどった人物を装置の紙が包む幕切れから、一瞬の静寂の後、力強い拍手が響く。シャイヨー劇場の芸術監督は、舞踊家としても活躍するディディエ・デシャン。本作の印象を尋ねると、「秀樹は“優れたダンサー”とも呼べる。これほど豊かな動きの語彙をもつ俳優は稀だ。鉛筆などの日用品を小道具にいかす方法も、機知に富んでいるね。東京で感銘を受けた秀樹作・演出の『エッグ』を来年、シャイヨーに招聘できて嬉しいよ!」

人間の本质を問う舞台の帰路、タイトルの「蜂」が脳裏を飛び交う。原作には登場しない蜂について野田は、「室内の人質を武器を使わず心理的に支配できる井戸が、コントロールできないもの」と述べた。英語でBEと同音の名をもつ虫は、人智を超えた領域もイメージさせる。もしや「蜂」とは良心や情を忘れ果ててもなお、魂を震わす「畏怖の念」の象徴ではないか……。教会が多いヨーロッパの古都で『THE BEE』を見たせいか、「蜂」は神に近い存在とも思えるのであった。

取材・文:桂 真菜(舞踊・演劇評論家)



左:デヴィッド・チャールズ 中央:グリン・プリチャード 右:野田秀樹

芸劇+トーク 朗読「東京」シアターイースト

第1回

1月15日(水) 柳家小さん作『咄も剣も自然体』
演出:千葉雅子 出演:松重豊、千葉雅子

1月16日(木) スエヒロケイスケ作『カゲロウの黒い犬〜北赤羽サイボーグ事件〜』
演出:寺十 吾 出演:有蘭芳記、近藤芳正

1月17日(金) 平田オリザ作『東京ノート』
演出:菅原永二、佐久間麻由

第2回

2月7日(金) 林芙美子作『骨』 出演:山崎樹範、中村 中

2月8日(土) 松本 隆作『微熱少年』 出演:加治将樹、石橋穂乃香

2月9日(日) 三島由紀夫作『百万円煎餅』 出演:森岡 龍、黒川芽衣
演出:瀬田なつき

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/豊島区
助成:平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアティブ

企画監修:川本三郎



『咄も剣も自然体』



『骨』



『カゲロウの黒い犬〜北赤羽サイボーグ事件〜』



『微熱少年』



『東京ノート』



『百万円煎餅』

「芸劇+トーク」と冠したトークを組み込んだリーディングのシリーズとして、「自作自演」がすでに9回を数えているが、2014年1月、新たに「朗読『東京』」がスタートした。「自作自演」が劇作家同士、または劇作家と小説家の顔合わせで自作のリーディングと対談を行うのに対し、「朗読『東京』」では東京を舞台にした小説や戯曲、エッセイを俳優が朗読し、文芸・映画から都市文化まで幅広い見識をもつ評論家 川本三郎氏とトークを行う。実力派から新進まで、多彩な演出家と出演者による作品を日替わりで観ることができるというのも魅力のひとつで、計6日間で6作品を上演した。

1月に行われた第1回の3組は、小劇場からテレビまでのフィールドで活躍する実力派ぞろい。この企画最初の上演となる松重豊×千葉雅子『咄も剣も自然体』は、酒を酌み交わしながら朗読するという設定で、まさに江戸下町情緒を感じさせる大人の組み合わせ。有蘭

芳記×近藤芳正『カゲロウの黒い犬』は、寺十が自らの劇団で上演した作品をリーディングとして再演出。引きこもりの長男と無職の次男を実力派の2人が演じ、殺人をめぐるシュールなやりとりから、現代東京のシニカルなやるせなさが漂う。菅原永二×佐久間麻由『東京ノート』は、性別も年齢も異なる10人以上の登場人物を2人で演じ分け、平田作品の空気感を巧みに表現した江本の手腕が光った。

対して2月の第2回は、新進の映画監督 瀬田なつきが3日間3作品の演出を担当。これが舞台初演出となった。舞台奥の左右にJR中央線とゆりかもめの車窓の風景を映写し、電車が終点に到着するとともに朗読が終わるという仕掛け。戦後や60年代の東京を舞台にした作品の朗読を聞きながら、現代の風景を見ることで、観客は不思議な浮遊感を体験した。山崎樹範×中村 中『骨』は、終戦直後の人々の哀しくも図太い生きざまを見事に表現。加治将樹×石橋穂乃香『微熱少年』は、1966年

のビートルズ来日を背景にした青春物語を20代の2人が好演。森岡 龍×黒川芽衣『百万円煎餅』は、今はない浅草の“新世界ビル”を舞台に若夫婦の生々しい質感を表現した三島作品を時にクールに、時にセクシーに表現した。

いずれも朗読のあとは、川本三郎氏をナビゲーターとして、俳優や演出家たちの東京トークが繰り広げられた。何といっても聞きどころは、川本氏の幅広い知見。下町と山の手、歓楽街や遊び場、はては鉄道に至るまで、古今の東京の風景や風俗を語ってやむことがなく、出演者までもが観客と同じ気持ちになって質問してしまうほど。朗読の余韻を感じながらの楽しいひとときになった。

朗読とトークをとおして、東京という多彩な貌をもつ街の魅力を再発見し、共有する時間。観客からも「初めて朗読を見たが、想像以上に楽しめた」「トークが面白くて最高」と好評で、シリーズとして、手ごたえを感じられる出発となった。

文:編集局

障害をお持ちの方への鑑賞サポート

東京芸術劇場では、目や耳が不自由な方に舞台を一層楽しんでいただけるよう、一部の公演で下記サービス(無料・要事前申込)を実施しています。対象公演は劇場HP等で随時ご案内いたします。障害者割引と併せてぜひご利用ください。

<http://www.geigeki.jp/access/support.html>

芸劇 鑑賞のサポート で検索

●視覚障害者のための舞台説明会

目の不自由なお客様に、舞台装置や登場人物などについて開演前にご説明いたします。

●聴覚障害者のためのポータブル字幕機提供サービス

耳の不自由なお客様に、台詞や音の情報をお手元でご覧いただけるポータブル字幕機をお貸しします。

※障害者手帳をお持ちの方が対象となります。 ※障害者割引は公演により設定のない場合もございます。

芸劇 BUZZ 読者の皆様へ

🎵 ご意見・ご感想をお送りください! 🎵

いつも東京芸術劇場・季刊広報誌「芸劇BUZZ」をお読みいただき、誠にありがとうございます。劇場や本誌について、皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。そのほか、「芸劇BUZZ」の入手場所をお書き添えいただき、下記送付先まで郵送ください。お寄せいただいたご意見・ご感想は、今後の参考にさせていただきます。

送付先: 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1
東京芸術劇場「芸劇BUZZ・読者の声」係 まで
尚、お受け取りした郵便物は返却致しませんので、ご了承ください。

COVER PHOTO

芸術・2014-2015 海外オーケストラシリーズ

指揮者

レナード・スラットキン 2014年7月19日(土) フランス国立リヨン管弦楽団

ケント・ナガノ 2014年10月10日(金) モントリオール交響楽団 photo:Marco Campanozzi

エサ＝ペッカ・サロネン 2015年3月7日(土) フィルハーモニア管弦楽団 photo:Hikaru.☆

東京芸術劇場コンサートホール



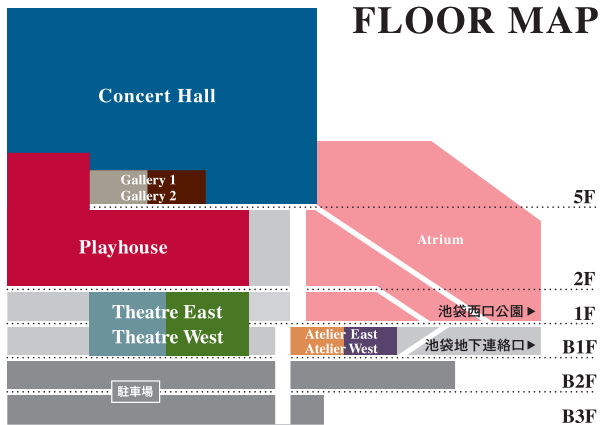
指揮者（左から）レナード・スラットキン、
エサ＝ペッカ・サロネン、ケント・ナガノ

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre



FLOOR MAP



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス
(チケット・総合案内カウンター)

予約
お問合せ | 0570-010-296
(休館日を除く10:00~19:00)

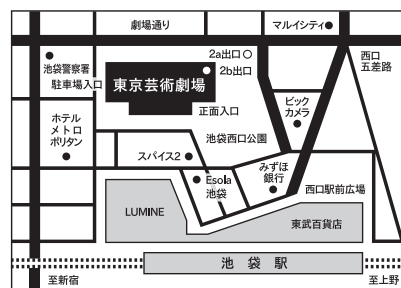
5F 芸術キッズルーム ミューズ
(託児サービス)

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様に開演1時間前～
終演後30分までお子様をお預かり致します。

利用料金 | 生後4ヶ月～1歳児:2,160円/
2歳～6歳児:1,080円
お問合せ | 03-3981-7003

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

利用料金 | 300円/30分
営業時間 | 7:00~24:00
お問合せ | 03-6914-0019



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

開館時間 | 9:00~22:00 (休館日を除く)

お問合せ | 03-5391-2111

JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より
徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

〈東京芸術劇場パートナー企業・団体 ご芳名〉 東京芸術劇場の年間運営事業に賛同し、ご支援くださっている皆さまです。

アサヒグループホールディングス株式会社

株式会社 資生堂

明光義塾

凸版印刷三幸会

レンゴー株式会社

東京地下鉄株式会社

株式会社 JTBコーポレートセールス

立教大学

丸茂電機株式会社

トヨタ自動車株式会社

西池袋熱供給株式会社

住友生命保険相互会社

三精輸送機株式会社

株式会社 松田平田設計

ホテルメトロポリタン

早稲田塾

株式会社フジテレビジョン

株式会社WOWOW

東京臨海熱供給株式会社

株式会社 東京ビッグサイト

ソニー銀行株式会社

キヤノン株式会社

ヤマハサウンドシステム株式会社

株式会社 TBSテレビ

株式会社 松村電機製作所

渡邊建設株式会社

香山壽夫建築研究所

HOTEL URBAN (ホテルアーバン)

(2014年6月1日現在)